

フランス軍に「宇宙軍司令部」を設立 マクロン大統領が発表 アメリカ・ロシアに対抗



13日（土）、エマニュエル・マクロン（Emmanuel Macron）大統領は、パリ祭（Le 14 Juillet / Fête nationale française）を前にパリの国防省（Hôtel de Brienne - Ministère de la Défense）で演説し、今年の9月に「宇宙軍司令部（commandement militaire de l'espace）」を創設すると発表しました。

宇宙軍司令部

マクロン大統領は、パリ祭を翌日に控えた13日、国防省で毎年恒例の演説を行い、「宇宙における我々の能力の開発と強化を確実なものとするため、空軍の中に、重要な宇宙軍司令部を設置す

る」「我々は宇宙の状況に関する知識を強化し、攻撃的な手段も含めて、我々の人工衛星をより良く守るようにするだろう」と述べ、今年の9月に宇宙軍司令部を設置することを明らかにしました。

将来的には、空軍と宇宙軍は統合され、「空・宇宙軍 (l'armée de l'Air et de l'Espace)」になるとのことです。

宇宙は国際的な開発競争の分野に

偵察衛星 (スパイ衛星) や通信妨害、サイバー攻撃、人工衛星を攻撃する衛星攻撃兵器の開発など、宇宙は現在、軍事作戦には欠かせない開発分野となっていて、国家間の対立に発展しています。

世界最大の宇宙開発大国である、アメリカや中国、ロシアは宇宙の主権を得るため、数年前から宇宙開発を積極的に行っていますが、フランスもこの分野に参入し、アメリカやロシアに続き積極的に軍備を強化したい考えです。

予算は4000億円以上

2019年から2025年までのフランス軍事計画法 (La loi de programmation militaire / LPM) では、宇宙防衛の予算として、36億ユーロ (およそ4370億円 / 1ユーロ : 121円計算) を計上していて、これらは主に、フランスの観測衛星や通信衛星の更新、新たに打ち上げられる3つの人工衛星、宇宙監視衛星の強化などに充てられます。

マクロン大統領は、演説の中で「(宇宙軍司令部設置のための) 必要な新たな投資が決定されるだろう」と述べ、更に多くの予算がつけ込まれることを明らかにしました。

欧州を牽引していきたい考え

今年のパリ祭 (Le 14 Juillet / Fête nationale française) では、欧州の連帯を象徴する演出が行われましたが、マクロン大統領は、宇宙開発、防衛の分野でも欧州をリードしていきたい考えとみられています。

執筆 : Daisuke

オンラインフランス語学校

ENSEMBLE EN FRANÇAIS

アンサンブルアンフランセ

オンラインフランス語学校アンサンブルアンフランセは、プロの講師によるマンツーマンのスカイプレッスンが1回1500円～受講できます。いつでもどこでも手軽に受講できる利便性と生徒一人一人にカスタマイズされた質の高いレッスンが好評です。

